



港区新橋5-15-5  
交通ビル7F  
国労東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 常盤達雄

2020年  
3月4日  
No. 131-①  
ダイジェスト版

1人で悩まず国労へ相談。  
みんなで楽しく  
がんばろう!  
HP <http://www.e-nru.com/>

< 2020年春闘要求根拠メモより重要部分抜粋 >

# 初任給の引き上げは

## 社員全体の賃金の底上げと 新規採用者の応募拡大につながる!

JR東日本の初任給は世間相場から見て「高いのか？低いのか？」  
調べてみると、こんな結果となりました。

	JR東日本	厚生労働省調査	差額
高校卒	159,700円	165,100円	5,400円
専門・短大卒	178,500円	181,400円	2,900円
大学卒	185,400円	206,700円	21,300円
大学院卒	192,400円	238,700円	46,300円

※ JR東日本・2019年4月1日現在 厚生労働省調査・2018年4月現在

これではJR東日本が世間相場から見ても、「決して高くはない」事が明らかであり、会社が「基本給以外でも、手当や福利厚生が充実している」と説明しても、JR東日本は、新卒者から目を向けてもらえなくなります。

### さらに、JR東日本の初任給と全国最低賃金を比較してみると……

○全国最低賃金（1時間あたり）の加重平均 …………… 901円（2019年11月現在）	】	【 差 額 】 ● 1,194円 - 901円 = 293円
○JR東日本の初任給（1時間あたり）の加重平均 ……… 1,194円（2019年 4月現在）		

就職ランク上位にあるJR東日本の初任給が、全国最低賃金の加重平均901円をわずか293円上回る1,194円とは…。

このままでは今後も30歳以下社員の離職者（2017年度79人・2018年度103人・2019年度158人）が増加することになります。

初任給の引き上げは、新入・若手社員のモチベーションUPや新卒者の応募拡大につながる相乗効果となるので、会社として英断するべきです。



港区新橋5-15-5  
交通ビル7F  
国労東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 常盤達雄

2020年  
3月4日  
No. 131-②  
ダイジェスト版

1人で悩まず国労へ相談。  
みんなで楽しく  
がんばろう!  
HP <http://www.e-nru.com/>

# JR採用者に重くのしかかる 第二基本給は廃止すべきだ!

私たちが強く求めている「第二基本給廃止」の根拠は、退職手当規程第4条（退職手当算定基礎給）での定めにより、退職手当算定基礎給は、満55歳時での基本給額から第二基本給を差し引いた基本給額で算出されるからです。

- 1. 昭和62年4月1日までに入社した社員（国鉄採用者）**  
昭和62年4月1日以降の給与改定及び定期昇給による基本給の増加分の30%が累積された額。
- 2. 昭和62年4月2日以降に入社した社員（JR採用者）**  
入社時第二基本給と入社後の給与改定及び定期昇給による基本給の増加分の30%が累積された額。

## 具体的に退職金を計算すると……<57歳・主任職社員の場合>

◎ 55歳時基本給額：385,300円    ◎ 第二基本給額：65,220円

### 【第二基本給がない場合】

…… 385,300円×60ヵ月 = 2,311万8000円

### 【第二基本給がある場合】

… (385,300円-65,220円)×60ヵ月 = 1,920万4800円

【差額】

● 391万3,200円

退職手当での第二基本給は、毎年の昇給額の30%を累積して、退職手当の基準となる55歳時基本給から差し引くことで、退職金を低く抑えるものです。国鉄採用者は1987年4月からの累積ですが、JR採用者は入社から退職までの累積となり退職金に及ぼす影響が大きいので「第二基本給の廃止」を求めています。

国鉄採用者の1人あたりの第二基本給での減額分を400万円と仮定すると、国鉄採用者が毎年3000人退職した場合、400万円×3000人 = 120億円の退職金を減らすことができる「カラクリ」が隠されているのです。

# 退職金への大打撃になる 第二基本給は廃止していいこう!